
「令和3年度京都府がん検診受診率調査」報告書

2021/10/29

株式会社クロス・マーケティング



目次

調査設計	… 03	〈乳がん検診〉	
回答者の割付・集計について	… 04	「乳房エックス線検査（マンモグラフィ）」の受診率	… 18
回答者プロフィール	… 07	「乳房超音波検査（エコー）」の受診率	… 19
調査結果詳細	… 09	「乳房視触診検査」の受診率	… 20
がん検診の受診状況 全体的な傾向	… 10	乳がん検診（国民生活基礎調査と同条件）の受診率	… 21
〈胃がん検診〉		〈子宮頸がん検診〉	
「胃部エックス線検査（バリウム検査）」の受診率	… 11	「細胞診検査」の受診率	… 22
「胃内視鏡検査（胃カメラ検査）」の受診率	… 12	がん検診を受けたきっかけ	… 23
「胃がんリスク検査、A B C検査」の受診率	… 13	がん検診を受けなかった理由	… 25
胃がん検診（国民生活基礎調査と同条件）の受診率	… 14	がん検診を受けようと思う施策	… 27
〈肺がん検診〉			
「胸部エックス線検査（レントゲン検査）」の受診率	… 15		
「喀痰細胞診」の受診率	… 16		
〈大腸がん検診〉			
「便潜血検査」の受診率	… 17		

調査設計

調査目的	健康長寿日本一の実現のためには、疾病を早期に発見し、適切に治療することが重要であり、特に受診率の低いがん検診受診率のさらなる向上対策が必要である。 そのため、がん検診のデータを分析し、受診率向上対策の基礎資料とするとともに、その結果を公表することを目的とする。
調査エリア	京都府
調査対象者	府内に居住地を有する ・ 20歳以上70歳未満の女性 ・ 40歳以上70歳未満の男性
サンプル数・割付	サンプル数：4,000サンプル
調査期間	2021年9月6日（月）～2021年9月13日（月）
調査手法	クロス・マーケティングモニターへのインターネット定量調査
調査機関	株式会社クロス・マーケティング
備考	がん検診については、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日。ただし、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は平成31年4月1日～令和3年3月31日）の受診状況を調査している。

回答者の割付・集計について

回答者の割付・集計について

本アンケートでは、地域別（保健所単位、京都市内・乙訓地域・山城北地域・山城南地域・南丹地域・中丹西地域・中丹東地域・丹後地域）に区切った層に分け、地域別で100名以上、合計で約4,000名の回答者数を集めたため、結果の集計に際しては、平成27年国勢調査における人口構成比へのウェイトバック（平成27年国勢調査における各層の人口÷各層の回収数＝ウェイト値回収票に乗じる方法）を行い集計した。

割付			人口構成 (平成27年国勢調査)		調査回収数		ウェイトバック値	調査回収数 (ウェイトバック後)	
性別	年齢	居住地	人口	割合 (%)	人数	割合 (%)		人数	割合 (%)
男性	40-49歳	京都市内	100,745	7.60	300	7.50	1.013147689	304	7.60
		乙訓地域	11,703	0.88	46	1.15	0.767555672	35	0.88
		山城北地域	32,035	2.42	121	3.03	0.798748158	97	2.42
		山城南地域	8,791	0.66	39	0.98	0.680055230	27	0.66
		南丹地域	8,510	0.64	26	0.65	0.987476397	26	0.64
		中丹西地域	5,516	0.42	19	0.48	0.875873060	17	0.42
		中丹東地域	7,950	0.60	30	0.75	0.799496167	24	0.60
		丹後地域	5,963	0.45	18	0.45	0.999454013	18	0.45
	50-59歳	京都市内	79,486	6.00	501	12.53	0.478655913	240	6.00
		乙訓地域	8,279	0.62	70	1.75	0.356820958	25	0.62
		山城北地域	23,107	1.74	175	4.38	0.398360279	70	1.74
		山城南地域	6,515	0.49	50	1.25	0.393110757	20	0.49
		南丹地域	8,076	0.61	39	0.98	0.624744174	24	0.61
		中丹西地域	4,803	0.36	23	0.58	0.630021343	14	0.36
		中丹東地域	6,728	0.51	38	0.95	0.534161888	20	0.51
		丹後地域	6,501	0.49	29	0.73	0.676320700	20	0.49
	60-69歳	京都市内	91,672	6.91	333	8.33	0.830544649	277	6.91
		乙訓地域	9,556	0.72	41	1.03	0.703173987	29	0.72
		山城北地域	31,092	2.35	115	2.88	0.815682849	94	2.35
		山城南地域	8,053	0.61	37	0.93	0.656638718	24	0.61
		南丹地域	10,789	0.81	31	0.78	1.050001721	33	0.81
		中丹西地域	5,528	0.42	12	0.30	1.389815978	17	0.42
		中丹東地域	8,639	0.65	22	0.55	1.184707956	26	0.65
		丹後地域	7,972	0.60	15	0.38	1.603417218	24	0.60

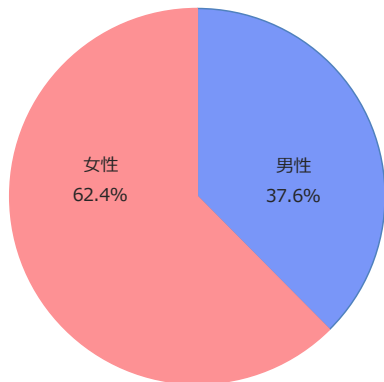
回答者の割付・集計について

割付			人口構成 (平成27年国勢調査)		調査回収数		ウェイトバック値	調査回収数 (ウェイトバック後)	
性別	年齢	居住地	人口	割合 (%)	人数	割合 (%)		人数	割合 (%)
女性	20-29歳	京都市内	91,270	6.88	151	3.78	1.823566541	275	6.88
		乙訓地域	6,475	0.49	12	0.30	1.627904930	20	0.49
		山城北地域	20,532	1.55	36	0.90	1.720676655	62	1.55
		山城南地域	5,157	0.39	10	0.25	1.555849710	16	0.39
		南丹地域	6,080	0.46	10	0.25	1.834315733	18	0.46
		中丹西地域	2,845	0.21	6	0.15	1.430545028	9	0.21
		中丹東地域	3,924	0.30	6	0.15	1.973096200	12	0.30
		丹後地域	2,691	0.20	3	0.08	2.706219100	8	0.20
	30-39歳	京都市内	90,952	6.86	250	6.25	1.097596609	274	6.86
		乙訓地域	9,528	0.72	29	0.73	0.991229600	29	0.72
		山城北地域	25,383	1.91	72	1.80	1.063606457	77	1.91
		山城南地域	7,577	0.57	22	0.55	1.039070747	23	0.57
		南丹地域	7,294	0.55	17	0.43	1.294456168	22	0.55
		中丹西地域	4,361	0.33	14	0.35	0.939785117	13	0.33
		中丹東地域	5,897	0.44	16	0.40	1.111940777	18	0.44
		丹後地域	4,201	0.32	12	0.30	1.056189747	13	0.32
	40-49歳	京都市内	106,440	8.03	300	7.50	1.070419773	321	8.03
		乙訓地域	12,065	0.91	41	1.03	0.887797630	36	0.91
		山城北地域	32,602	2.46	110	2.75	0.894174066	98	2.46
		山城南地域	9,332	0.70	28	0.70	1.005511890	28	0.70
		南丹地域	8,798	0.66	24	0.60	1.105969697	27	0.66
		中丹西地域	5,131	0.39	17	0.43	0.910591527	15	0.39
		中丹東地域	7,438	0.56	23	0.58	0.975660785	22	0.56
		丹後地域	5,988	0.45	14	0.35	1.290399743	18	0.45
	50-59歳	京都市内	84,882	6.40	250	6.25	1.024344658	256	6.40
		乙訓地域	8,459	0.64	32	0.80	0.797516282	26	0.64
		山城北地域	25,028	1.89	89	2.23	0.848411705	76	1.89
		山城南地域	7,258	0.55	21	0.53	1.042721146	22	0.55
南丹地域		8,732	0.66	20	0.50	1.317207647	26	0.66	
中丹西地域		4,611	0.35	10	0.25	1.391123330	14	0.35	
中丹東地域		6,557	0.49	16	0.40	1.236390652	20	0.49	
丹後地域		6,308	0.48	11	0.28	1.730093248	19	0.48	
60-69歳	京都市内	103,121	7.78	102	2.55	3.050123722	311	7.78	
	乙訓地域	11,201	0.84	14	0.35	2.413788831	34	0.84	
	山城北地域	36,193	2.73	45	1.13	2.426512768	109	2.73	
	山城南地域	8,995	0.68	13	0.33	2.087508859	27	0.68	
	南丹地域	11,266	0.85	10	0.25	3.398914646	34	0.85	
	中丹西地域	5,719	0.43	2	0.05	8.627016182	17	0.43	
	中丹東地域	9,336	0.70	7	0.18	4.023771542	28	0.70	
	丹後地域	8,199	0.62	5	0.13	4.947221939	25	0.62	
全体			1,325,835	100.00	4,000	100.00		4,000	100.00

回答者プロフィール

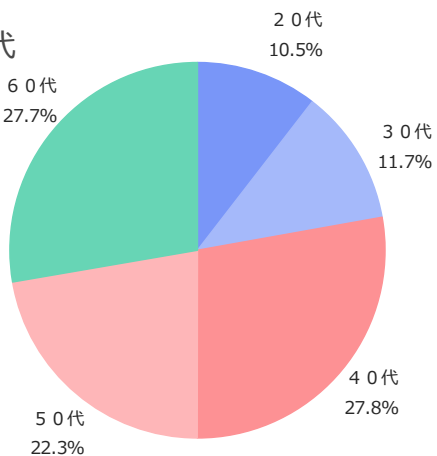
回答者プロフィール

性別



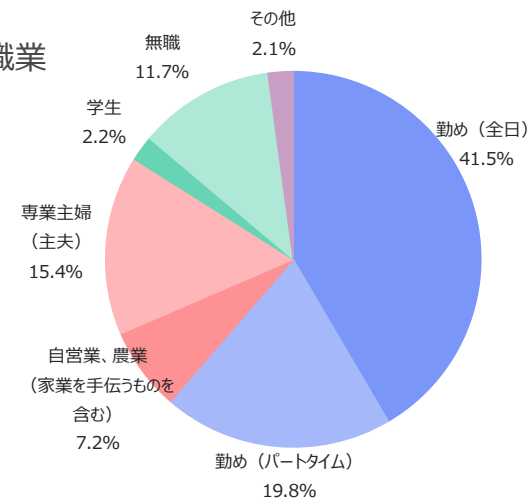
(n=4,000)

年代



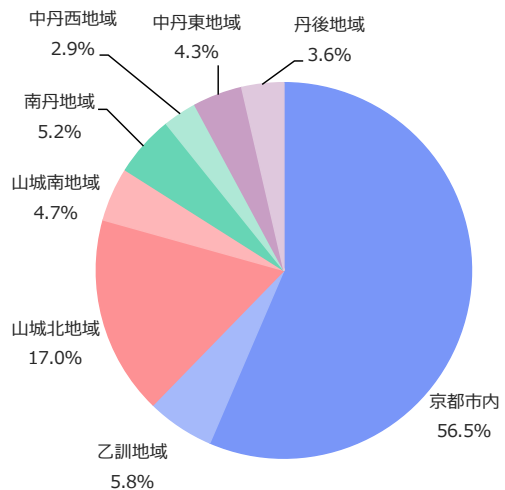
(n=4,000)

職業



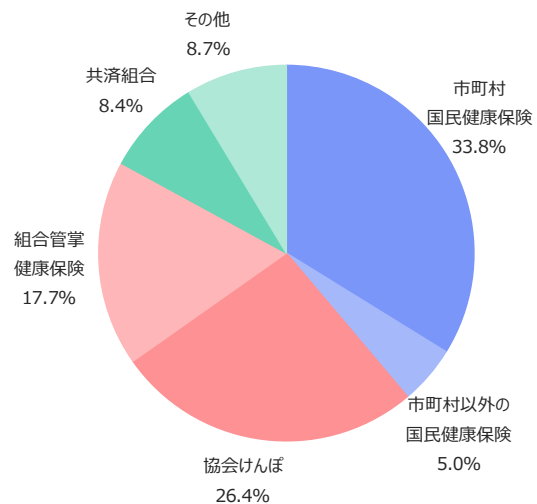
(n=4,000)

居住地



(n=4,000)

加入している健康保険



(n=4,000)



調査結果詳細

がん検診の受診状況 全体的な傾向

がん検診の検査別受診率は、「胸部エックス線検査」が50%、「便潜血検査」は44%に達するが、そのほかの項目はおおむね20%台。国民生活基礎調査と同条件の受診率をみると、「胃がん検診」は44%、「肺がん検診」は50%、「大腸がん検診」は44%、「乳がん検診」は42%、「子宮頸がん検診」は30%である。

※がん検診については、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日。ただし胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は平成31年4月1日～令和3年3月31日）の受診状況を調査している（以下同じ）。

		単位：%			単位：%			単位：%			
対象者（母数）		検査別受診率			指針（※）に基づく検査の受診率			国民生活基礎調査と同条件の受診率			
	対象者数（A）	対象者	受診者数（B）	受診率（B/A）	対象者	左記の受診者数（実人数）（C）	受診率（C/A）	対象者	左記の受診者数（実人数）（D）	受診率（D/A）	
胃がん検診	男女 40～69歳	3,113	6_1胃部エックス線検査	881	28.3	6_1, 6_2いずれか ひとつでも受けた実人数	1,327	42.6	6_1, 6_2, 6_3いずれか ひとつでも受けた実人数	1,377	44.3
			6_2胃内視鏡検査	799	25.7						
			6_3胃がんリスク検査、ABC検査	508	16.3						
肺がん検診	男女 40～69歳	3,113	6_4胸部エックス線検査	1,560	50.1	6_4を受けた実人数	1,560	50.1	6_4, 6_5いずれか ひとつでも受けた実人数	1,564	50.3
			6_5喀痰細胞診	256	8.2						
大腸がん検診	男女 40～69歳	3,113	6_6便潜血検査	1,365	43.9	6_6を受けた実人数	1,365	43.9	6_6を受けた実人数	1,365	43.9
乳がん検診	女性 40～69歳	1,610	6_7乳房エックス線検査	628	39.0	6_7を受けた実人数	628	39.0	6_7, 6_8, 6_9いずれか ひとつでも受けた実人数	678	42.1
			6_8乳房超音波検査	413	25.7						
			6_9乳房視触診検査	430	26.7						
子宮頸がん検診	女性 20～69歳	2,498	6_10細胞診検査	742	29.7	6_10を受けた実人数	742	29.7	6_10を受けた実人数	742	29.7

○本調査の受診率は、回答者のうち表中に示したそれぞれの対象年齢の者の人数を分母として算定しており、国が発表する「地域保健・健康増進事業報告」は40～69歳（胃がん検診は平成28年度以降50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）の全住民数を分母として算出しているため、受診率は異なる。

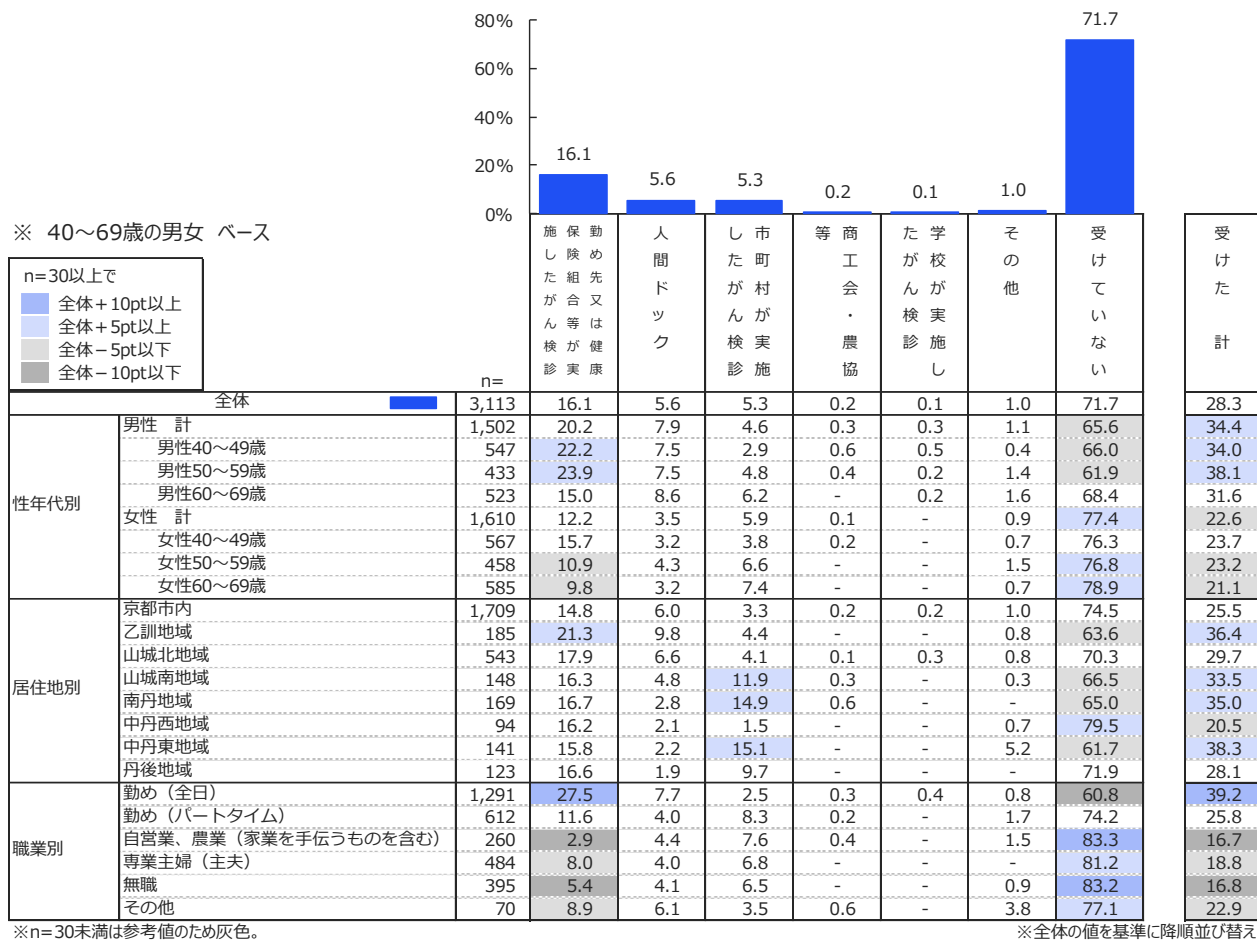
（※）指針：「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添

胃がん検診「胃部エックス線検査（バリウム検査）」の受診率

胃部エックス線検査（バリウム検査）の受診率は、全体で28%。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合などが実施したがん検診」が16%で最も高い。

性年代別では男性で高く、特に男性50～59歳で38%と受診率が高い。居住地別では、中丹東地域で38%と最も高い。



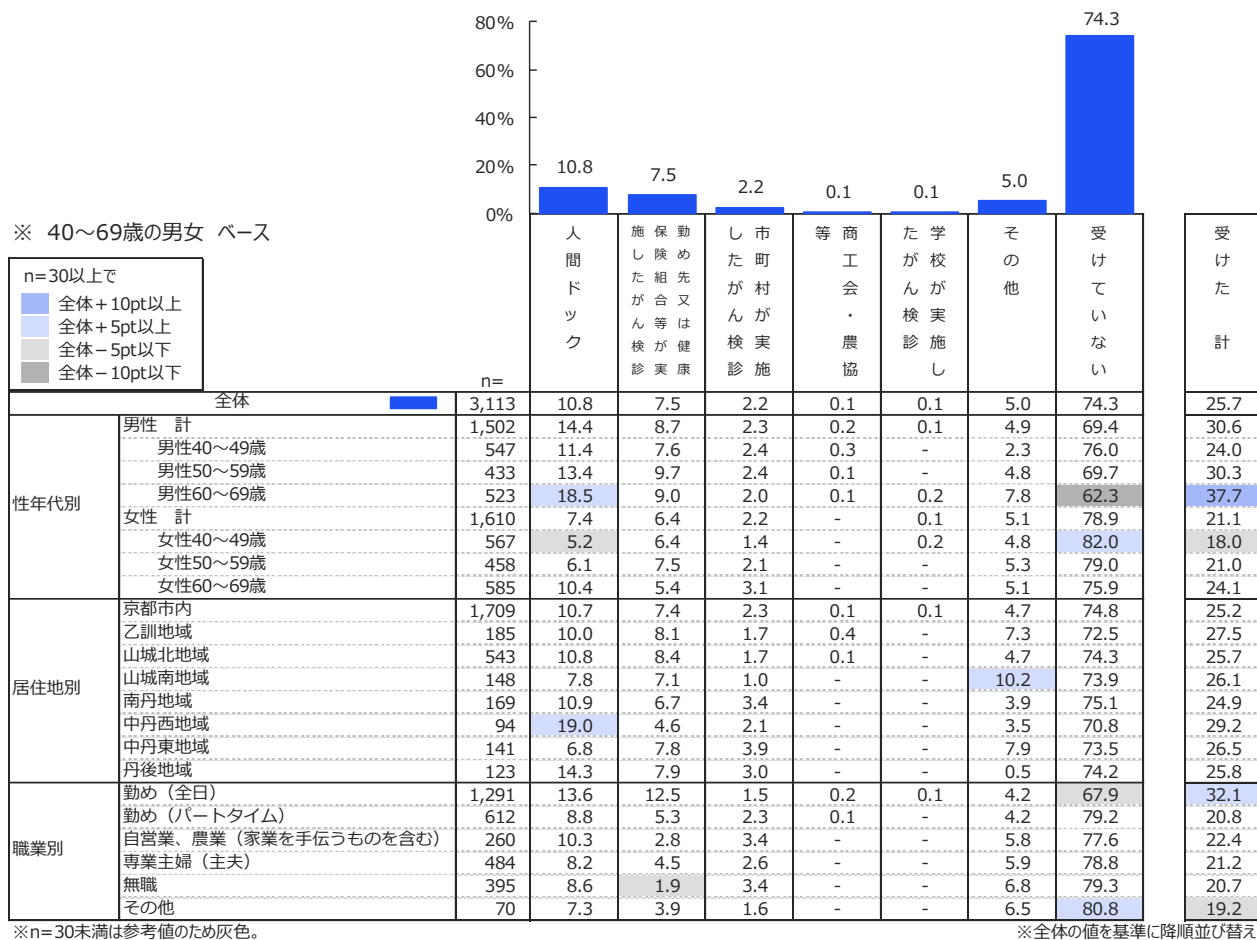
Q6_1 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／胃部エックス線検査（バリウム検査）（SA）

胃がん検診「胃内視鏡検査（胃カメラ検査）」の受診率

胃内視鏡検査（胃カメラ検査）の受診率は、全体で26%。

受けた場所は「人間ドック」が11%で最も高い。

性年代別では、男性60～69歳で38%と受診率が高い。一方、女性40～49歳では18%にとどまる。

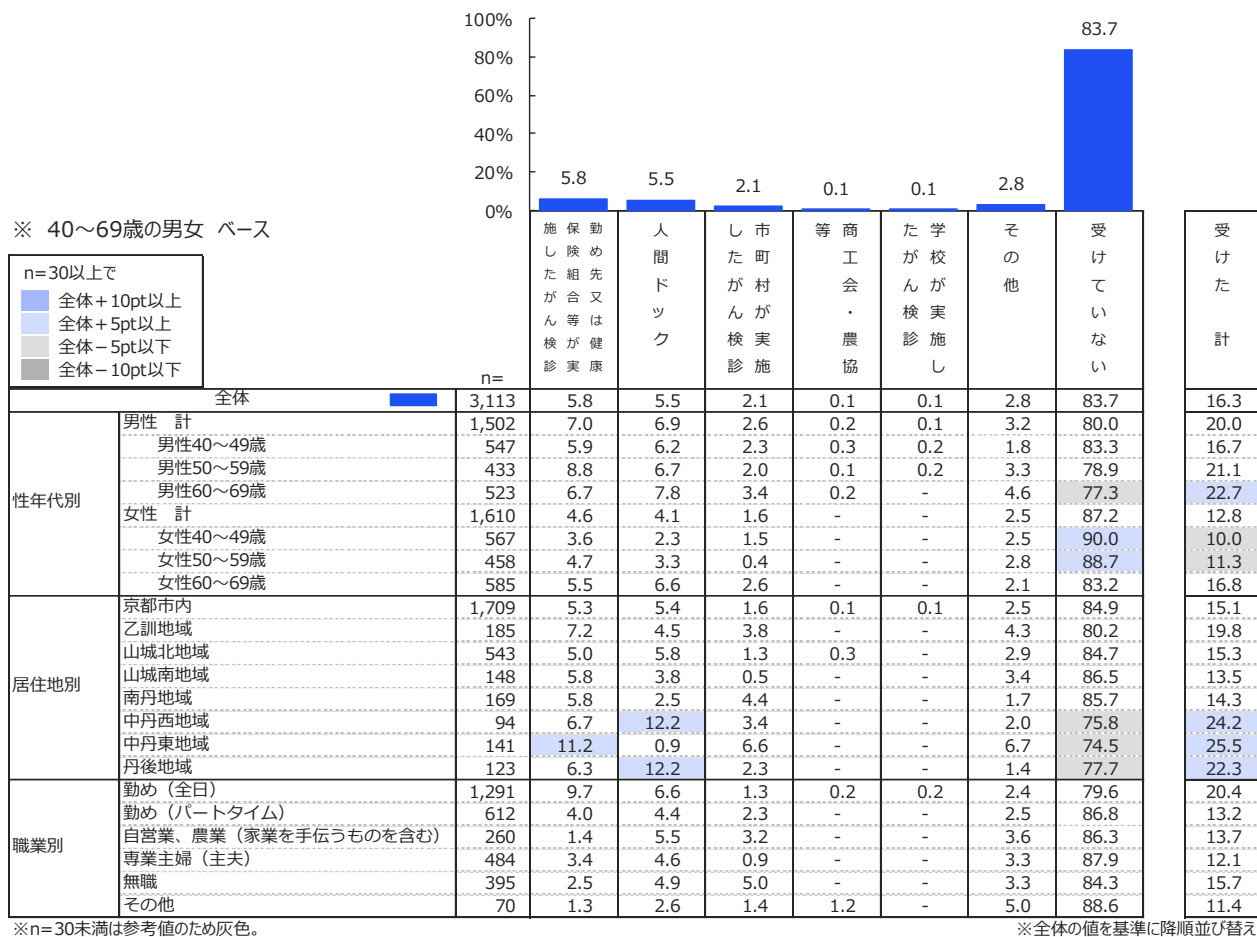


Q6_2 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／胃内視鏡検査（胃カメラ検査）（SA）

胃がん検診「胃がんリスク検査、A B C 検査」の受診率

胃がんリスク検査、A B C 検査の受診率は、全体で16%。

性年代別では、男性60～69歳で23%。居住地別では中丹西地域、中丹東地域、丹後地域で受診率が高い傾向にある。



Q6_3 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／胃がんリスク検査、A B C 検査 (SA)

胃がん検診（国民生活基礎調査と同条件）の受診率

国民生活基礎調査と同条件の胃がん検診の受診率は44%。

性年代別では、男性60～69歳で56%と高い。居住地別では、乙訓地域で54%と最も高い。

			(%)	
※ 40～69歳の男女 ベース			いずれか1つでも受けた	1つも受けていない
n=				
性年代別	全体	3,113	44.3	55.7
	男性 計	1,502	51.9	48.1
	男性40～49歳	547	45.9	54.1
	男性50～59歳	433	54.7	45.3
	男性60～69歳	523	55.8	44.2
	女性 計	1,610	37.1	62.9
	女性40～49歳	567	35.5	64.5
	女性50～59歳	458	36.1	63.9
女性60～69歳	585	39.5	60.5	
居住地別	京都市内	1,709	41.4	58.6
	乙訓地域	185	54.0	46.0
	山城北地域	543	43.8	56.2
	山城南地域	148	51.0	49.0
	南丹地域	169	50.4	49.6
	中丹西地域	94	46.1	53.9
	中丹東地域	141	49.8	50.2
	丹後地域	123	46.3	53.7
職業別	勤め（全日）	1,291	57.8	42.2
	勤め（パートタイム）	612	38.7	61.3
	自営業、農業（家業を手伝うものを含む）	260	31.0	69.0
	専業主婦（主夫）	484	33.6	66.4
	無職	395	32.9	67.1
	その他	70	29.2	70.8

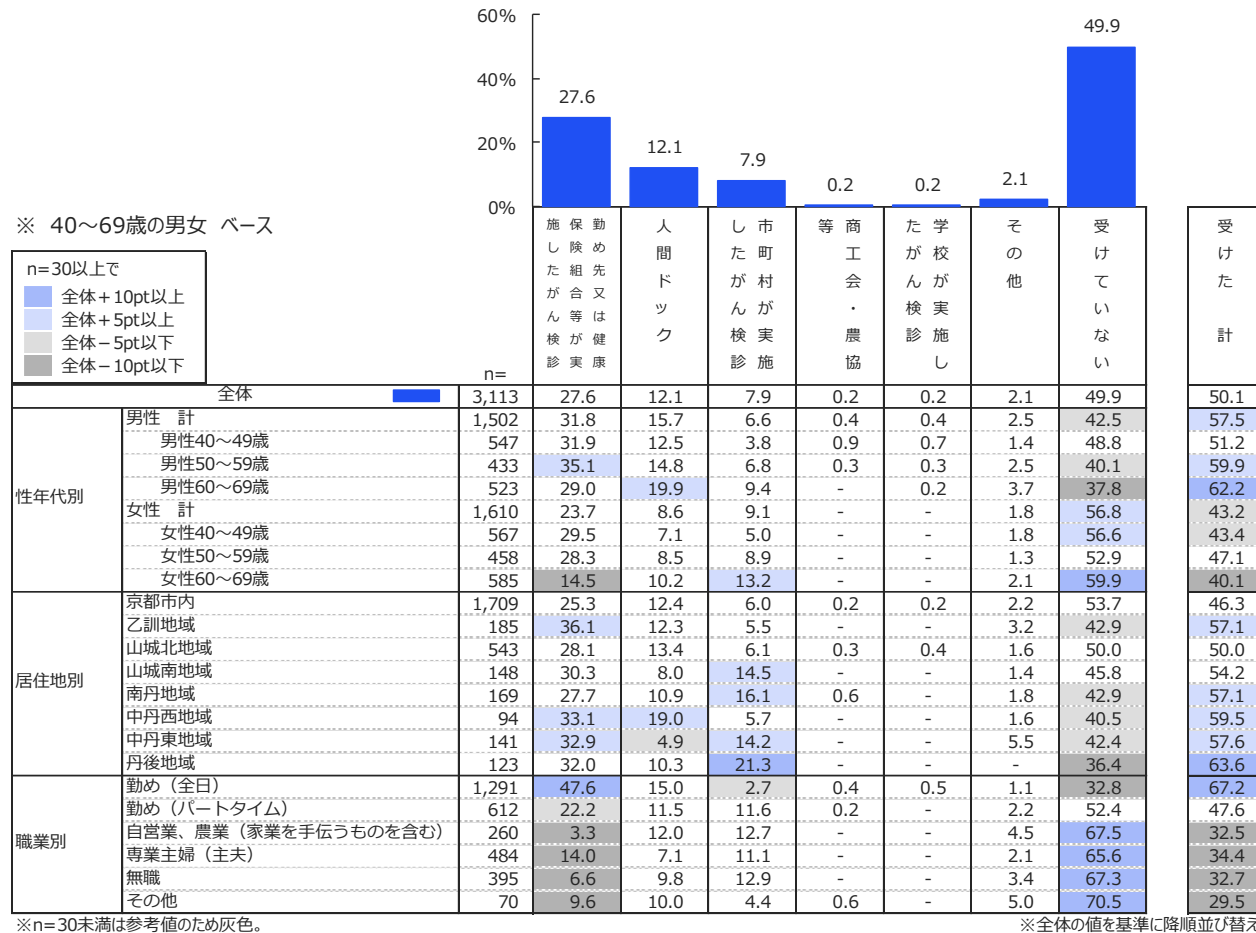
※ いずれか1つでも受けた人： 「胃部エックス線検査（バリウム検査）」 「胃内視鏡検査（胃カメラ検査）」 「胃がんリスク検査、ABC検査」 1つでも受けた人

肺がん検診「胸部エックス線検査（レントゲン検査）」の受診率

胸部エックス線検査（レントゲン検査）の受診率は、全体で50%と半数が受診している。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合などが実施したがん検診」が28%で特に高い。

性年代別では男性60～69歳で62%と高い。一方、女性60～69歳では40%と低い。居住地別では京都市内で46%と半数を下回っている。

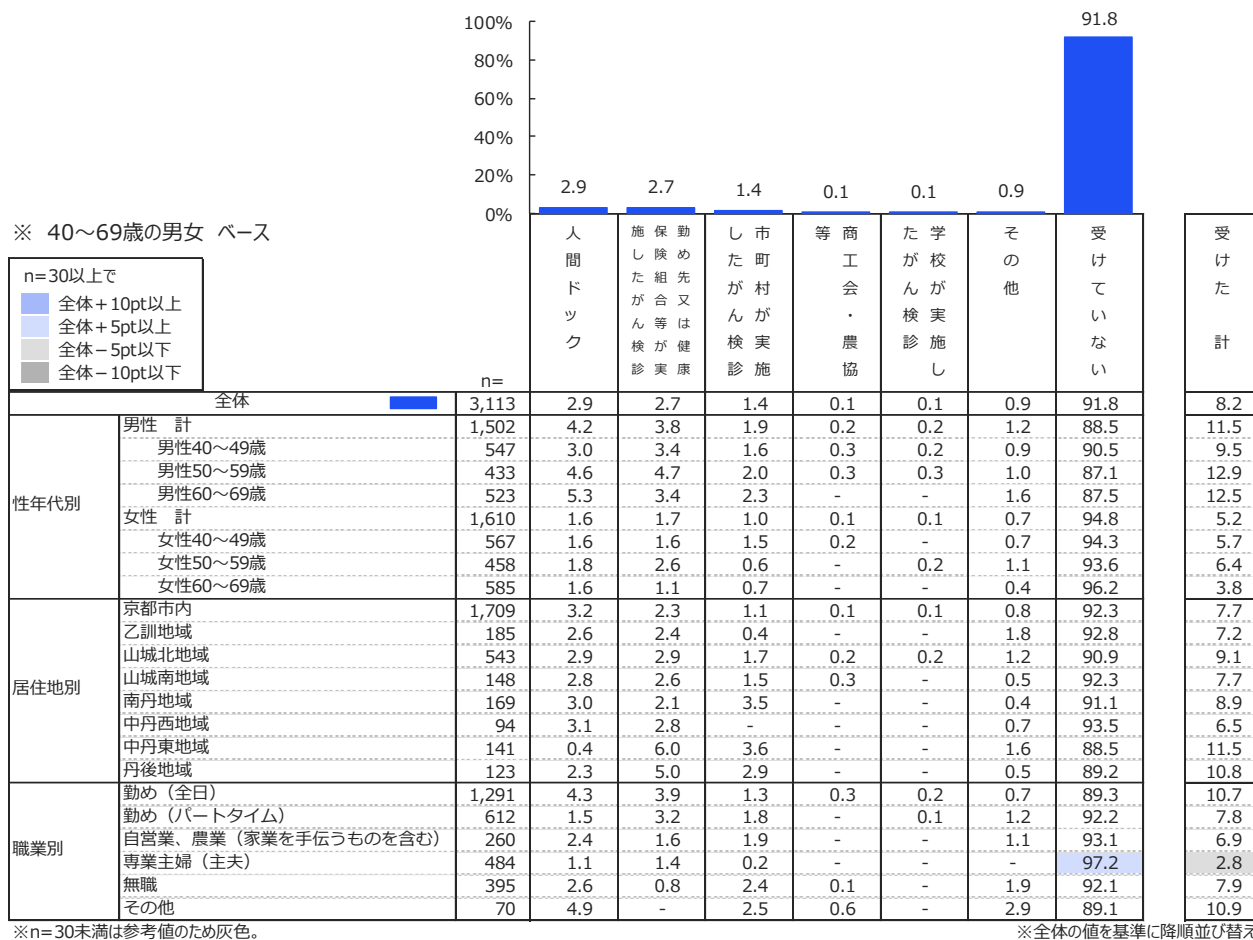


Q6_4 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／胸部エックス線検査（レントゲン検査）(SA)

肺がん検診「喀痰細胞診」の受診率

喀痰細胞診の受診率は、全体で8%と1割を下回る水準。職業別では専業主婦（主夫）の受診率が特に低く、3%にとどまる。

※喀痰細胞診の対象者は指針において「原則として50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上の者」とされており受診率は低いものと考えられる。



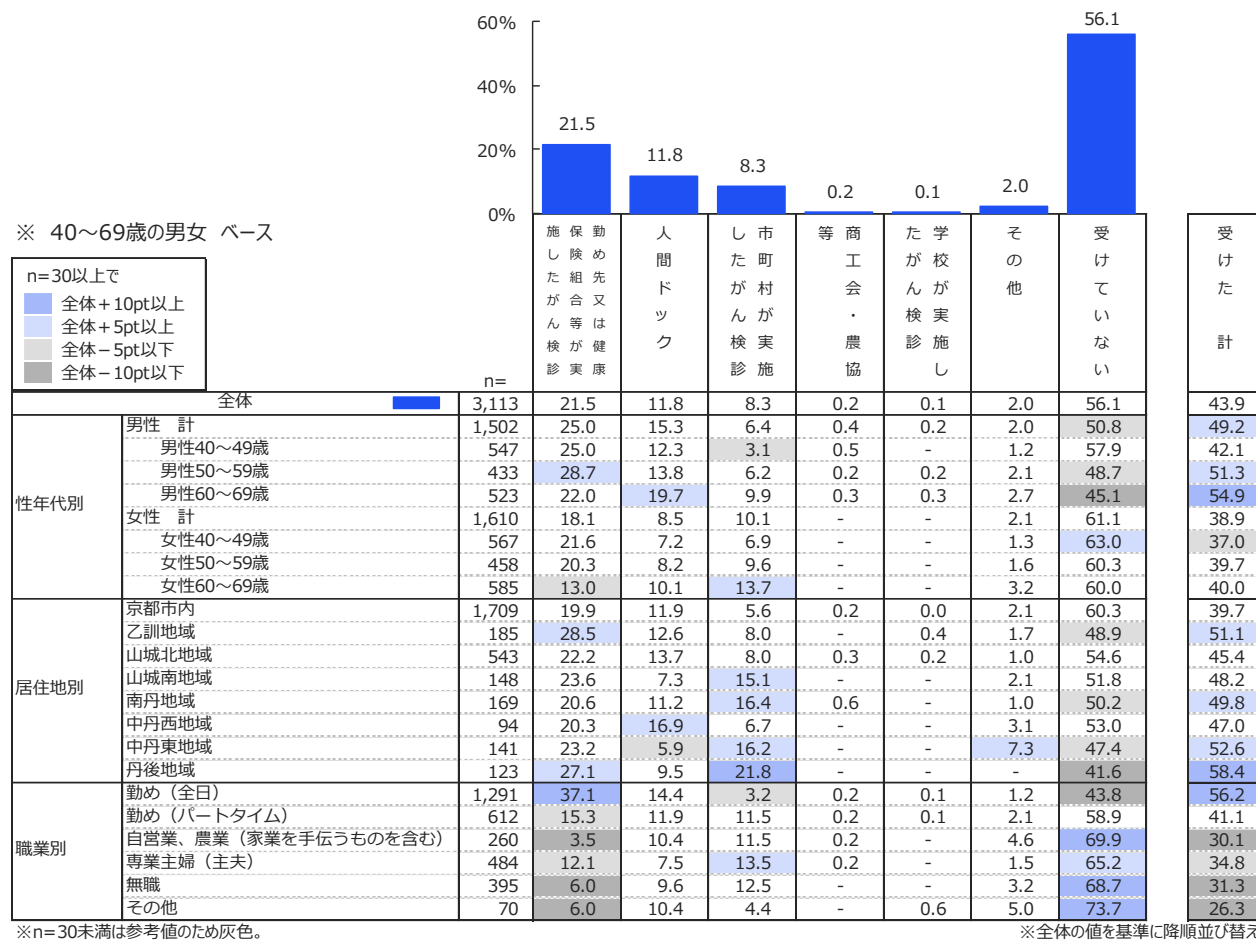
Q6_5 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／喀痰細胞診(SA)

大腸がん検診「便潜血検査」の受診率

便潜血検査の受診率は、全体で44%。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合などが実施したがん検診」が21%で最も高い。

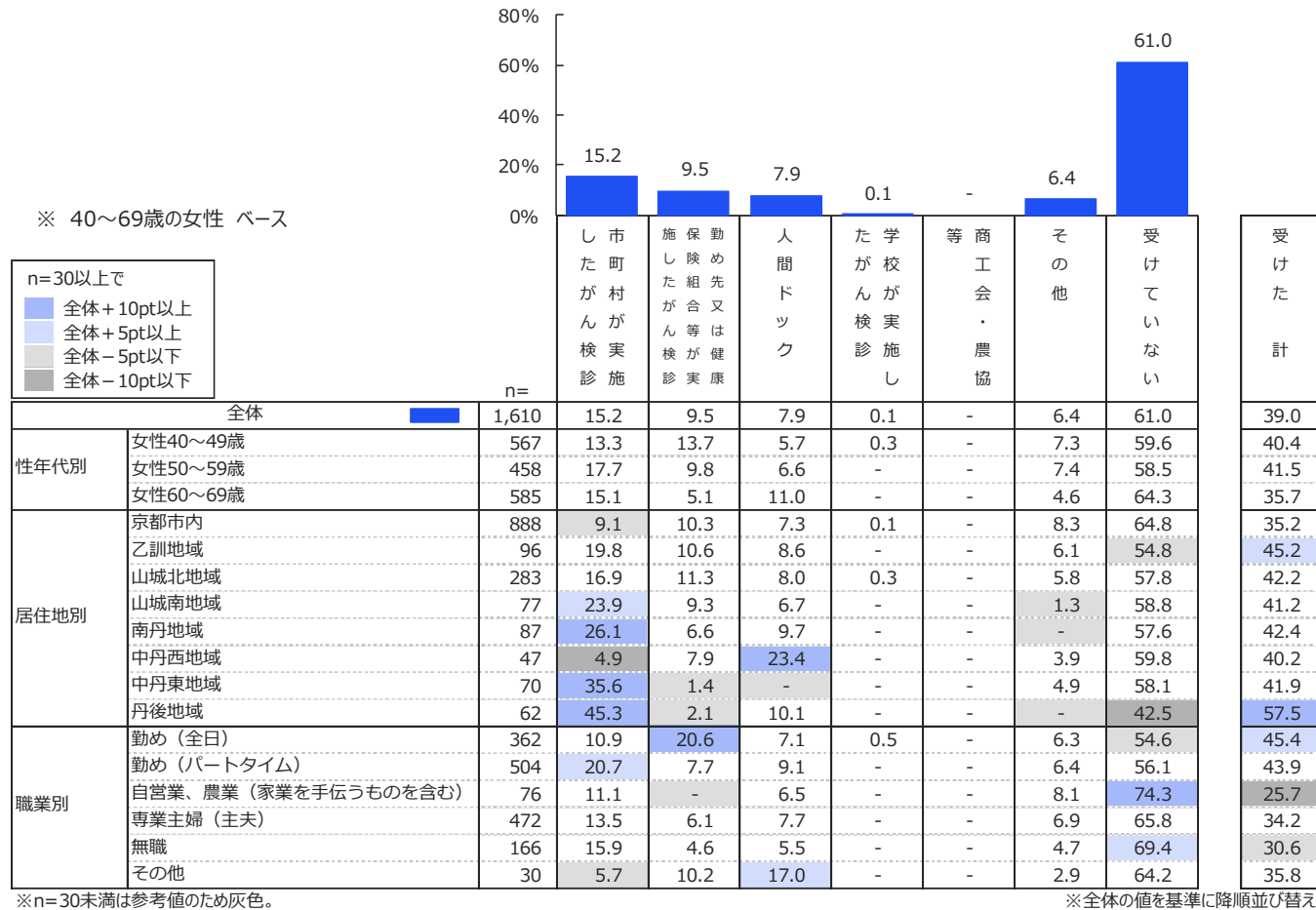
性年代別では、男性60～69歳で55%と高い。居住地別では、丹後地域で58%と最も高い。



Q6_6 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／便潜血検査(SA)

乳がん検診「乳房エックス線検査（マンモグラフィ）」の受診率

乳房エックス線検査（マンモグラフィ）の受診率は、全体で39%。
 受けた場所は「市町村が実施したがん検診」が15%で最も高い。
 居住地別では、丹後地域で58%と高い。

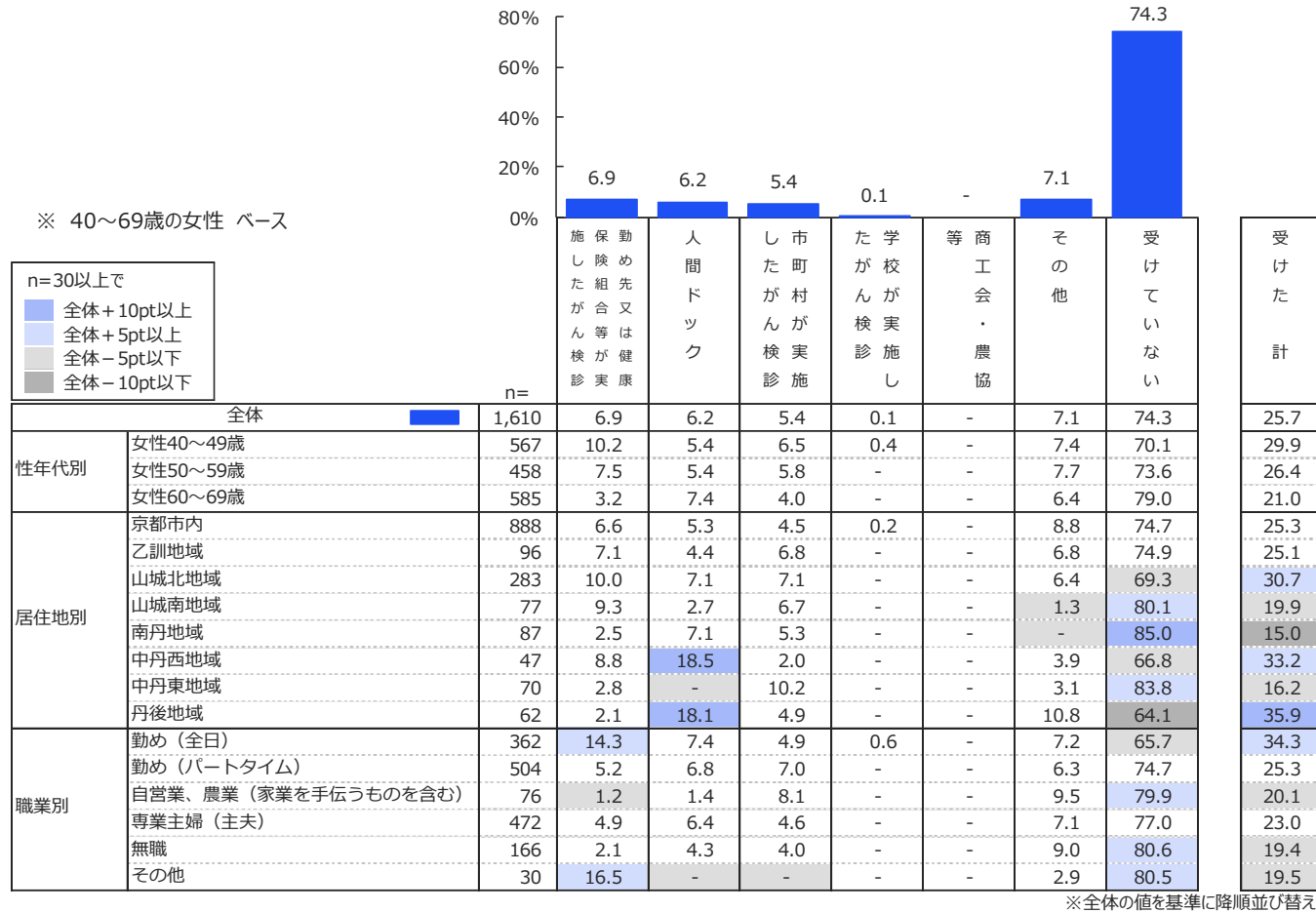


Q6_7 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／乳房エックス線検査（マンモグラフィ）（SA）

乳がん検診「乳房超音波検査（エコー）」の受診率

乳房超音波検査（エコー）の受診率は、全体で26%。

居住地別も、「乳房エックス線検査」と同様に丹後地域で36%と高い結果となっている。

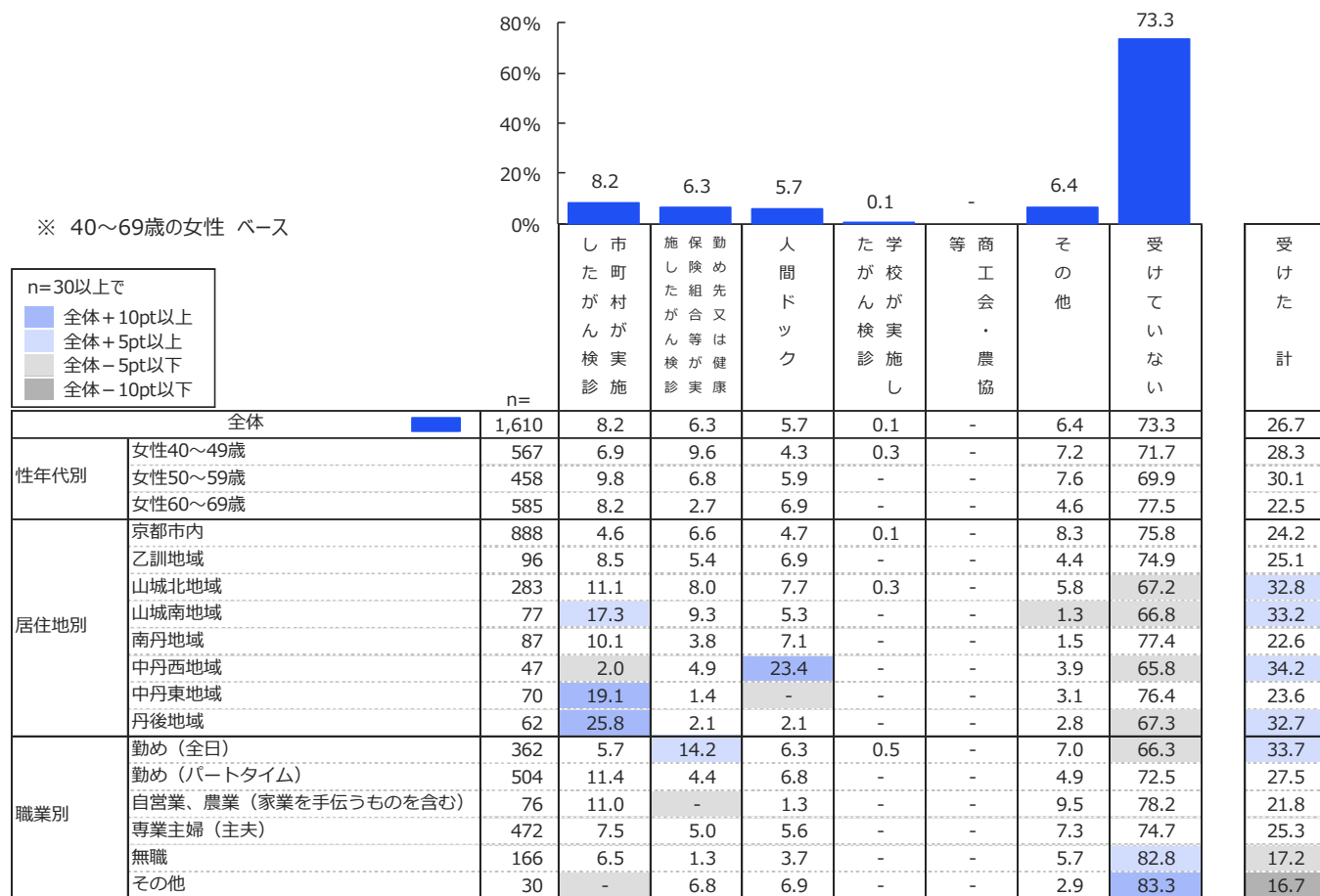


Q6_8 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／乳房超音波検査（エコー）（SA）

乳がん検診「乳房視触診検査」の受診率

乳房視触診検査の受診率は、全体で27%。

受けた場所は「市町村が実施したがん検診」が8%で最も高い。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q6_9 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／乳房視触診検査(SA)

乳がん検診（国民生活基礎調査と同条件）の受診率

国民生活基礎調査と同条件の乳がん検診の受診率は42%。

年代別では、40～49歳と50～59歳で45%。居住地別では、丹後地域で58%と最も高い。

※ 40～69歳の女性 ベース			(%)	
			いずれか1つでも受けた	1つも受けていない
全体		n=1,610	42.1	57.9
性年代別	女性40～49歳	567	44.8	55.2
	女性50～59歳	458	44.9	55.1
	女性60～69歳	585	37.2	62.8
居住地別	京都市内	888	38.4	61.6
	乙訓地域	96	48.5	51.5
	山城北地域	283	45.9	54.1
	山城南地域	77	41.2	58.8
	南丹地域	87	48.0	52.0
	中丹西地域	47	44.1	55.9
	中丹東地域	70	43.3	56.7
	丹後地域	62	57.5	42.5
職業別	勤め（全日）	362	51.6	48.4
	勤め（パートタイム）	504	45.7	54.3
	自営業、農業（家業を手伝うものを含む）	76	27.1	72.9
	専業主婦（主夫）	472	37.6	62.4
	無職	166	31.3	68.7
	その他	30	35.8	64.2

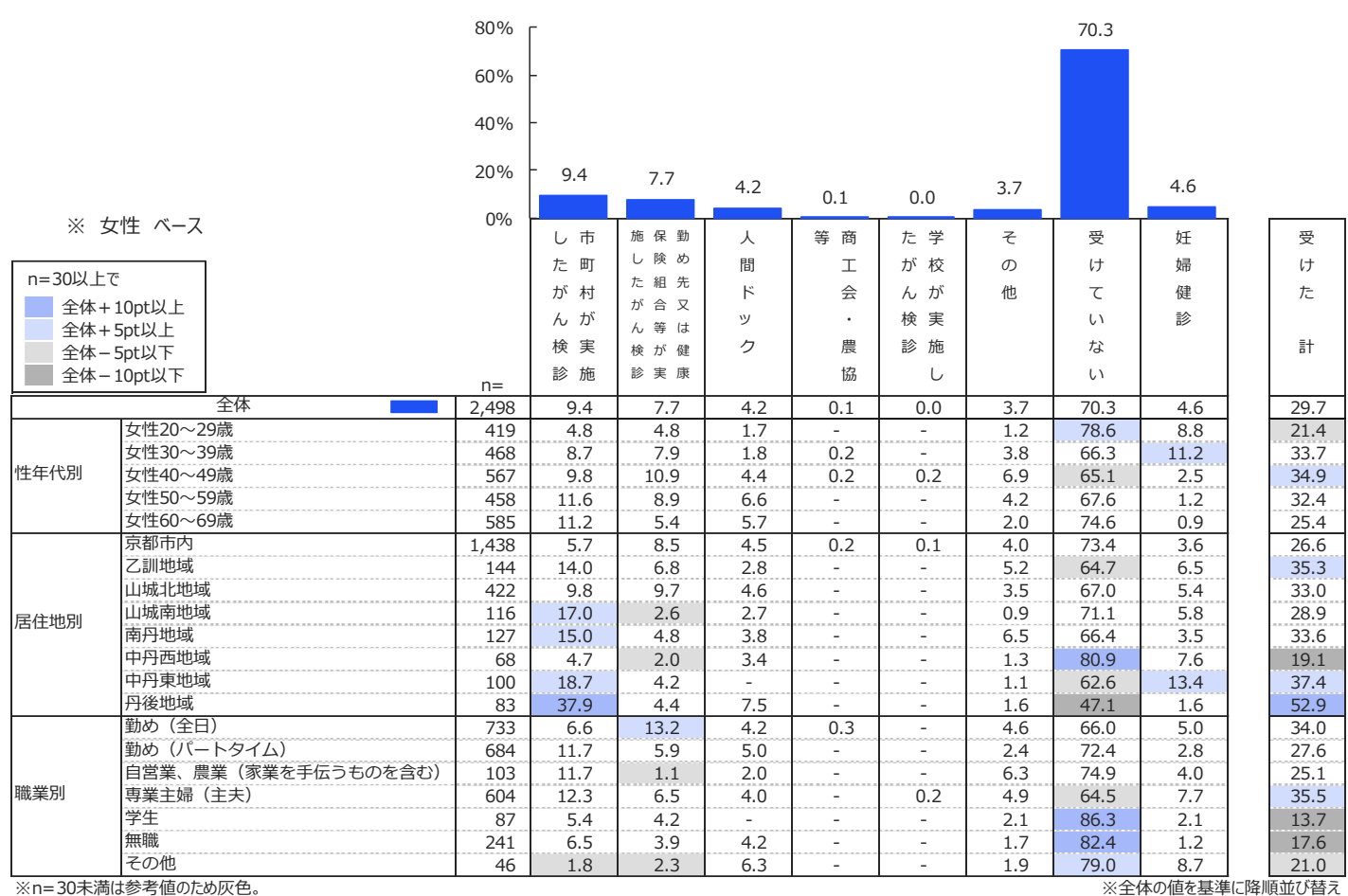
※ いずれか1つでも受けた人：「乳房エックス線検査（マンモグラフィ）」「乳房超音波検査（エコー）」「乳房視触診検査」 1つでも受けた人

子宮頸がん検診「細胞診検査」の受診率

細胞診検査の受診率は、全体で30%。

年代別では、40～49歳で35%と高い。一方、20～29歳では21%と他の年代と比較して低い。

居住地別では、丹後地域で53%と受診率が高い。



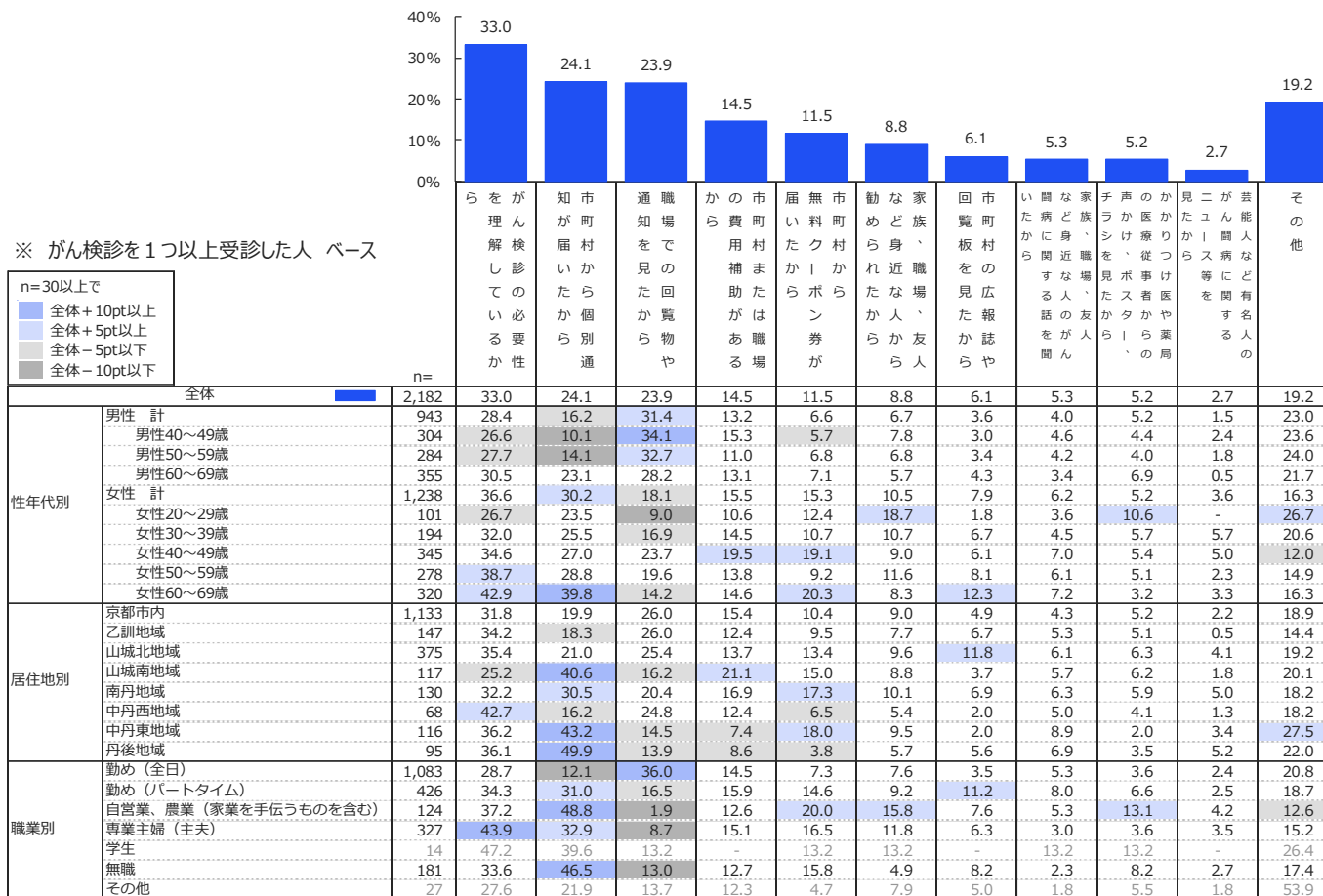
Q6_10 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。／細胞診検査(SA)

がん検診を受けたきっかけ（複数回答）

がん検診を1つでも受けたきっかけは、「がん検診の必要性を理解しているから」が33%で最多。

以下、「市町村から個別通知が届いたから」「職場での回覧物や通知を見たから」と続く。

「職場での回覧物や通知を見たから」は男性で高い。また、「市町村から個別通知が届いたから」は女性60～69歳で40%と高い結果となっている。



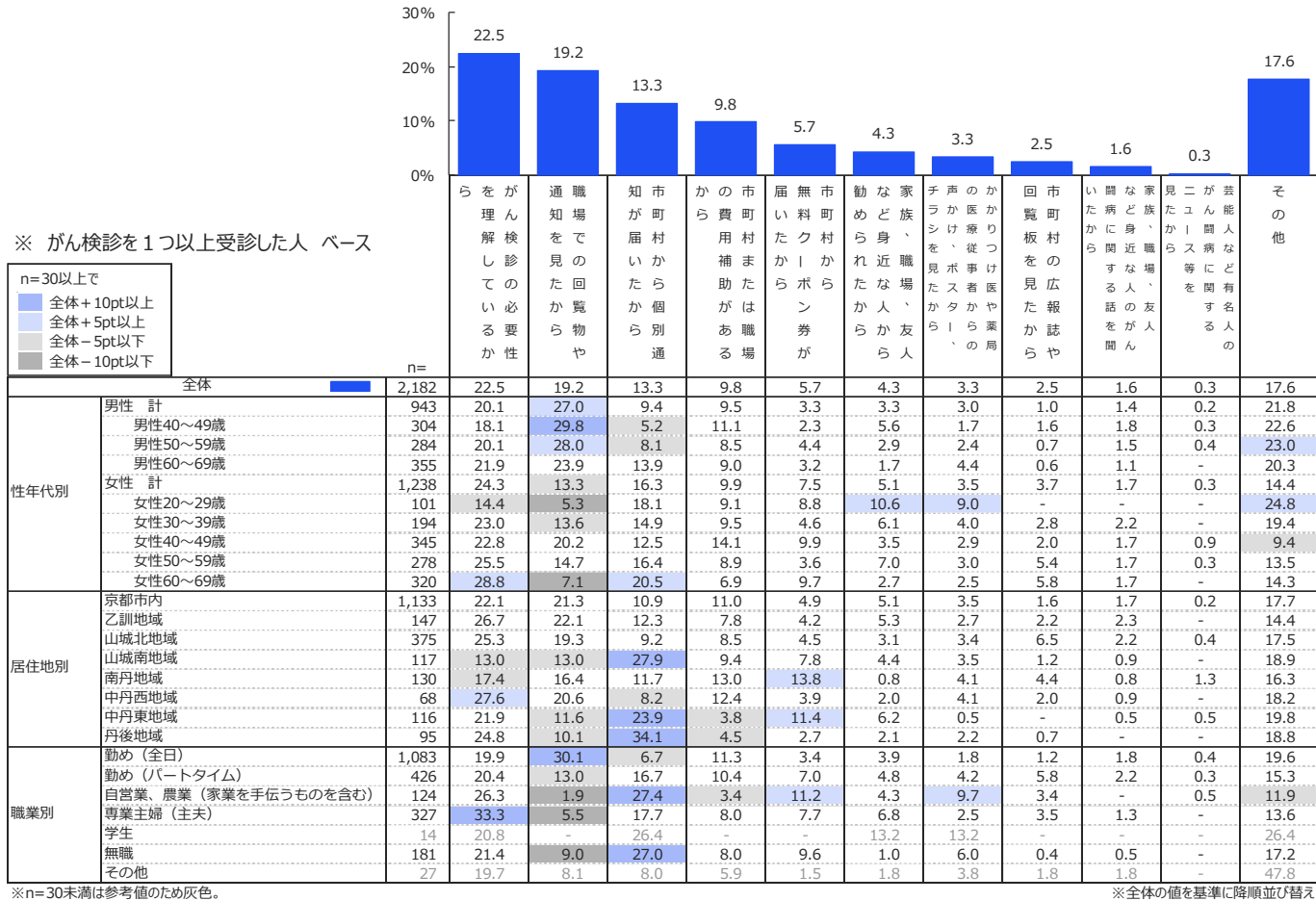
Q7 Q6でがん検診を1つでも「受けた」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けたきっかけについて、あてはまるものをすべてお答えください。／受けたきっかけであてはまるもの(MA)

がん検診を受けたきっかけ（単一回答：最もあてはまるもの）

がん検診を1つでも受けたきっかけ（最もあてはまるもの）も、「がん検診の必要性を理解しているから」が23%で最多。

以下、「職場での回覧物や通知を見たから」が19%、「市町村から個別通知が届いたから」が13%で続く。

複数回答と同じく、「職場での回覧物や通知を見たから」は男性で、「市町村から個別通知が届いたから」は女性60～69歳で高い結果となっている。

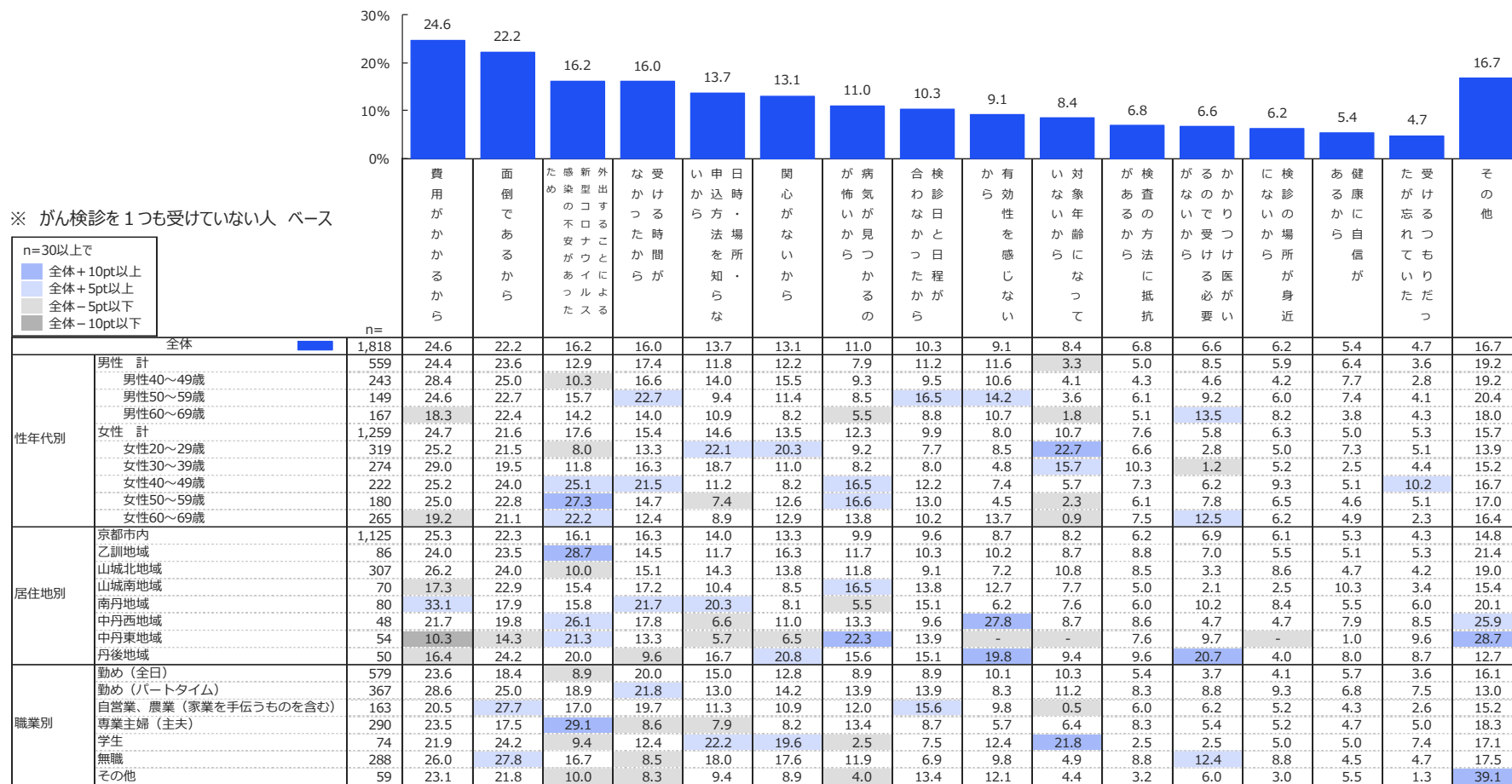


Q8 Q6でがん検診を1つでも「受けた」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けたきっかけについて、最もあてはまるものを1つ選んでください。／最もあてはまるもの(SA)

がん検診を受けなかった理由（複数回答）

がん検診を「1つも受けていない」と回答した人にがん検診を受けなかった理由を聞いたところ、「費用がかかるから」が25%で最多。以下、「面倒であるから」が22%で続く。

女性40代以上で「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったから」が高く、女性50～59歳では27%となっている。



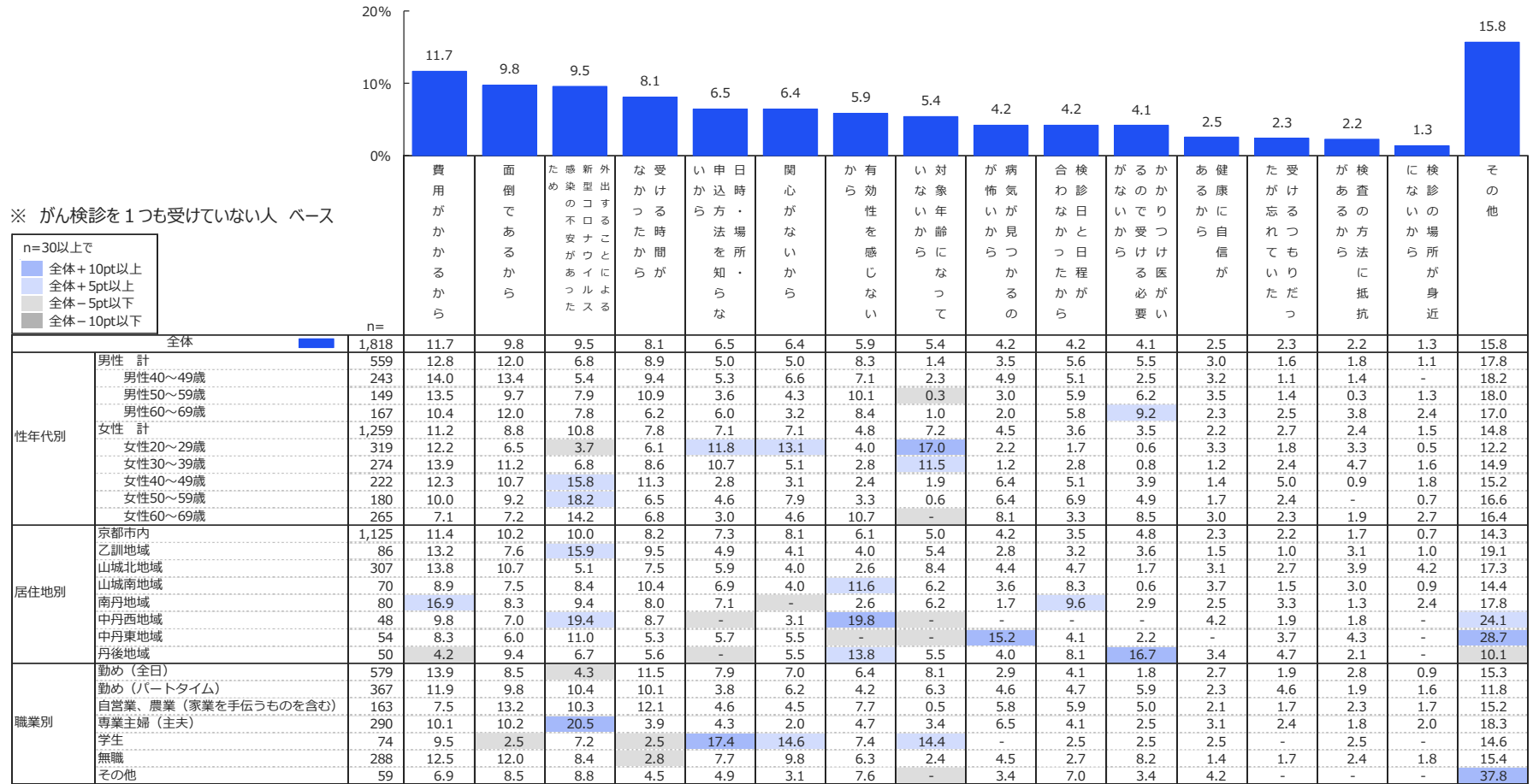
Q9 Q6でがん検診を1つも「受けていない」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けなかった理由について、あてはまるものをすべてお答えください。／受けなかった理由であてはまるもの(MA)

がん検診を受けなかった理由（単一回答：最もあてはまるもの）

がん検診を受けなかった理由（最もあてはまるもの）も、「費用がかかるから」が12%で最多。

以下、「面倒であるから」「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったから」が10%で続く。

複数回答と同じく、女性40代以上で「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったから」が高い結果となっている。



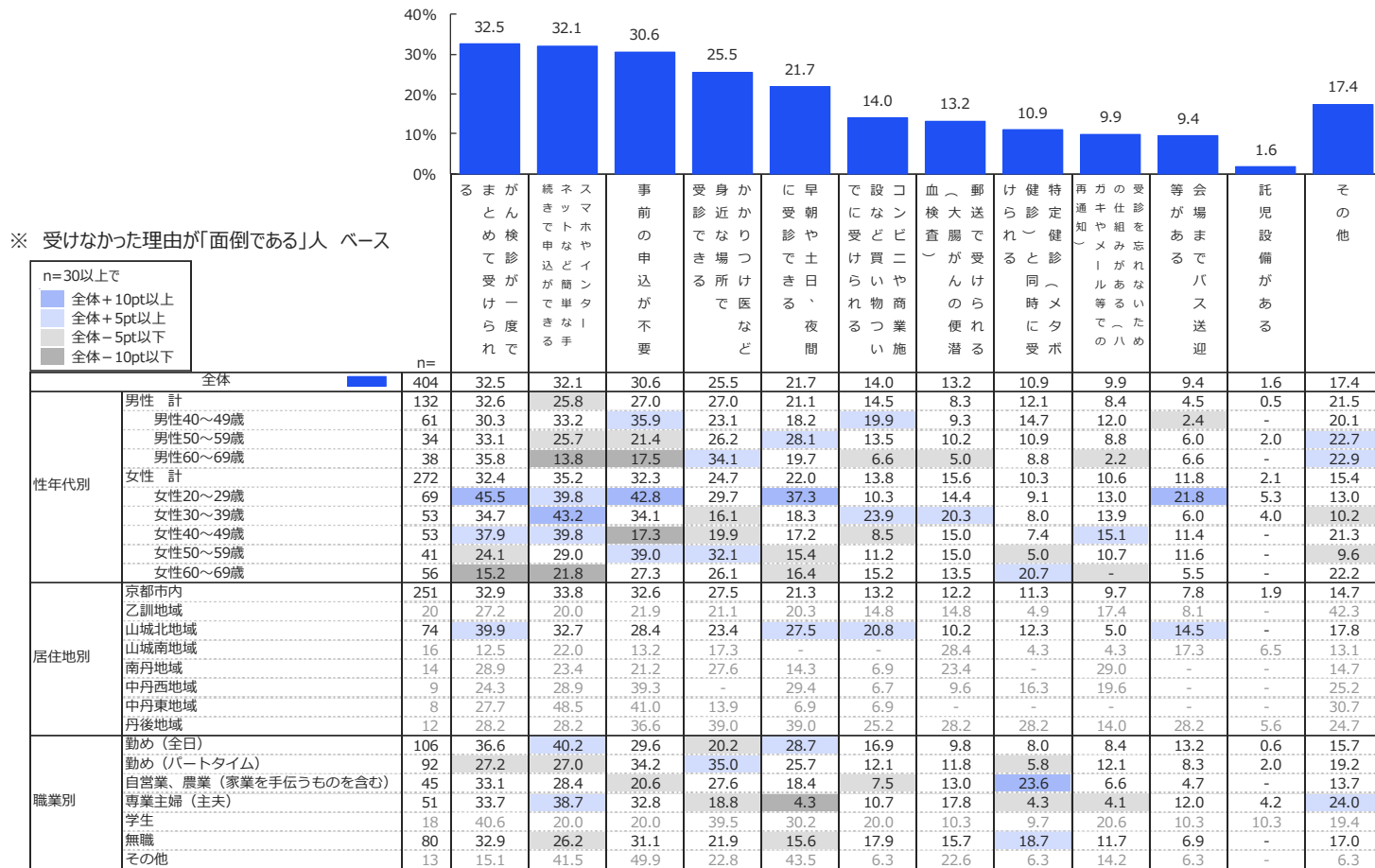
※全体の値を基準に降順並び替え

Q10 Q 6 でがん検診を1つも「受けていない」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けなかった理由について、最もあてはまるものを1つ選んでください。／最もあてはまるもの(SA)

がん検診を受けようと思う施策

未受診理由が「面倒だから」と回答した人にがん検診を受けようと思う施策をきいたところ、「がん検診がまとめて受けられる」が33%で最も高い。以下、「スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる」「事前の申込が不要」といった『簡便性』が上位を占める。

上位にあがる「まとめて受けられる」や「簡単な手続きで申込ができる」「事前の申込が不要」は、女性若年層で高い結果となっている。



Q11 Q9で「面倒であるから」と回答した方にお伺いします。どのような支援があれば受けようと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)



Partnering for your best decisions
すべては、お客様の最良の決断のために

ご注意

※この資料の無断複写、複製、ノウハウの使用、企業秘密の開示などは一切禁じられています。
お取り扱いには十分にお気をつけください。

